



人との「違い」を楽しめる中学生になるために

校 長 三 浦 利 信

今年度も2か月が過ぎ、学習に、行事に、部活動にと、様々な場面で頑張る生徒の姿を頼もしく思っています。目標をもって努力をした分だけ、人は成長できます。成長できると次のステップに進めます。それぞれが大きく成長することは、羽村一中の成長へとつながります。1年生にとっては、中学校に入って最初の定期テストが近付いてきています。しっかりと準備に取り組んで欲しいと思いますが、テストで大事なことは結果が返ってきてからの取組です。「結果は練習に対して正直です」、テストに向けた自分の取組を振り返り、良かった点は継続し、十分成果が出せなかった点は次への対策としてください。



さて、6月は東京都の小・中学校ではふれあい月間になります。特に「いじめ防止月間」として、いじめの未然防止や早期発見のための取組をしています。いじめは、人間関係の中で弱い立場にたたされた人に対して行われることが多く見られます。同じ立場であるはずの中学生同士が、何かのきっかけで立場の違いが生まれ、いじめの問題につながるのであれば、対等な関係を続けることが重要です。このような関係づくりを進めるためには、お互いの長所や持ち味などを尊重し、認め合いながら協力していくことが重要だと言えます。自分自身のことを見る時や周りの人のことを見る時に、短所や弱みなどといったマイナス面が多く見えてしまいます。しかし、お互いを認め合い、尊重することで、より良い関係性が築かれ、素晴らしい集団へと成長することができます。自分と違う考えの人と出会うことは、自分の考えを広げることにともつながります。誰もが過ごしやすい羽村一中、誰もが暮らしやすい羽村市を創って欲しいと思います。

合唱コンクールのビデオ撮影について

2年生、3年生の希望されたご家庭に、3月に実施した合唱コンクールのDVDが届く時期になりました。コロナ禍前より、合唱コンクールで撮影された動画等をSNSに掲載するケースが多く、トラブルになることもありました。また、撮影時の信号音等が合唱の最中に流れてしまい、進行に影響が出ることもありました。このような状況を受けて、全校実施となった年より、合唱コンクール当日のご家庭でのビデオ撮影については禁止とさせていただいていました。今後の方針について学校として検討し、今年度の合唱コンクール（3月7日予定）のビデオ撮影については、以下のようにしたいと思います。

- 撮影は自分の子供が在籍するクラス及び学年合唱のみとする。
- 撮影場所は自席のみとし、音や視界など周囲に十分配慮する。
- 撮影した映像はご家庭での利用にとどめ、SNS等への掲載は禁止する。

一中あるばむ

学習や行事、部活動等に一生懸命に取り組む一中生の素敵な様子を紹介します。



校歌コンクール（1 学年）

5月10日(土)

1年生の校歌コンクールが催されました。音楽の授業で練習した校歌をクラス単位で披露する取組です。リハーサルの時には、小さかった歌声も本番は見事にまとまりある合唱になっていました。歌う姿勢も聞く姿勢も立派でした。学校公開日でもあったので、保護者の方も多数参観されていました。

校外学習（8組） 5月13日(火)

当日は、校外学習日和というよりは、気温 25 度を超える夏日となり、水分補給が欠かせない日となりました。朝、羽村駅に集合し公共交通機関の利用から、動物公園内の見学、そして帰りまで、班長を中心に、協力して行動することができました。3 年生が 1 年生をリードする姿や、学年関係なく助け合う素敵な姿が見られました。



セーフティ教室（全学年）

5月28日(水)

個人情報や拡散してしまうところなのかと、生徒たちは真剣に講師の先生の話に耳を傾けていました。インターネットの使い方や闇バイトの危険性を再認識する機会となりました。また、最後のお礼の言葉では、「闇バイトは人生を台無しにしてしまう。自分の身は自分で守る。」と力強く言う生活委員長の言葉が印象的でした。

修学旅行（3 学年）

6月1日(日)～3日(火)

今年は、京都だけでなく「大阪・関西万博」にも行く修学旅行でした。「京、ここに刻む未来へと続くたび」に込められたスローガンのもと、生徒たちは、京都の豊かな歴史に触れ、万博のテーマでもある「未来の自分に出会う」ことを信じて、仲間との大切な時間を過ごしてきました。生徒たちにとっては、きっと心に残る素晴らしい修学旅行だったと思います。

